

東京商工新聞

第467号
 発行 東京商工団体連合会
 〒116-0013 荒川区西日暮里6-62-1
 電話 03-5692-5081
 F A X 03-5692-5091
 発行責任者 井賀眞一

ホームページ [東商連](#) 検索 電子メール mailadm@toshoren.jp

新型コロナ危機打開を!

「緊急請願署名」大きく広げよう

右手に署名、左手に商工新聞をもつて訴えよう



東商連 小林昭子副会長（行政書士）
 コロナ禍の影響は飲食店だけでなく、どの業者も売上が落ちていいます。

ことを求めています。連日ニュースでも業者の窮状が報じられているからこそ、一般の方たちにも共感を得ます。

緊急事態宣言の要望項目は、誰もが署名協力を訴えやすい内容です。請願事項の一番目は持続化給付金の再給付について。しかも、給付対象の拡大と、課税をしない

私は商工新聞配達の時、欠かさず署名用紙を持ってフティックや花屋、文房具屋さんなど読者の方にも署名の協力を呼びかけています。この間、「持続化給付

中小業者の活路を署名で開こう

蒲田民商 佐々木忠義副会長

中小業者の要求実現の力は、世論を結集することです。「業者がコロナ禍で大



変な時に、議員は銀座で豪遊するなんて許せない」「二度目の緊急事態宣言発令中だから」その再度の持続化給付金・家賃支援給付金を「売上に見合った補償を」など多くの業者・国民がもつ共通の思いを署名に託して業者の要求を実現させましょう。

ジェンダー平等社会の実現を野党女性国会議員と懇談

コロナ禍のジェンダー格差是正を

2月9日、全婦協主催で行われた野党女性議員と懇談会に東商連婦人部協議会（東婦協）が参加しました。業者婦人と野党国会議員が、コロナ禍で置かれている状況をオンラインを含めて打開への道を話し合いました。



業者婦人の実態をまとめた報告書を提出（右から二番目：倉橋議員）

塚田豊子全婦協会長は「東京五輪組織委員会の森喜朗会長の女性蔑視発言など、女性差別が根深く残っています。家族従業員への働き方を認めない所得税法第56条の廃止と併せ、コロナ危機打開と女性の地位向上へ力を合わせよう」とあいさつしました。

各地の発言では「夫が病気で寝たきりになり、一人でお好み焼き屋を切り盛りしている。緊急事態宣言の時短要請を受け夜8時までの営業をして

「商店の多くがシャッターを下ろしている。政府は無利子無担保の融資を薦めるが、借金をすることに変わりない。罰則で私たちを抑えるのではなく、全業者に応分の補償を早急に行うべき」と訴えました。

後日事務所まで相談することになりました。事務所のパソコンから期限延長の申請をおこな

「商店の多くがシャッターを下ろしている。政府は無利子無担保の融資を薦めるが、借金をすることに変わりない。罰則で私たちを抑えるのではなく、全業者に応分の補償を早急に行うべき」と訴えました。

「静岡」と報告がされました。

女性蔑視発言に抗議 東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長が「女性がたたく

商売あきらめず民商へ相談、入会相次ぐ

年末年始の取り組み強化で前進めざす

雪谷民商

11月、12月に大田民商と蒲田民商がコロナ対策ピラを飲食店に集中宣伝し大きな反響を得た経験に習い、雪谷民商では12月27日に飲食店が集中する8商店街に1300枚配布しました。この行動に会員・事務局員7人が参加しました。配布した翌日の午前か

「持続化給付金はまだ間に合いますか?」(飲食店)「持続化給付金を受けたけれど、該当するかしら」(モデル)、「他民商の会員でした。10年前労働者になったが19年末にひとり親方に。収支計算まとめたので確定申告の相談したい」と電話が

とねばり強く対話を深め、1月8日までに3人が入会。飲食店は持続化給付金の他にも都の感染拡大防止協力金も受給。モデルの方は持続化給付金の対象外でありましたが、「自分で記帳できるようにになりたい」と話し入会しました。

1月17日には年初宣言を行いました。翌日にリンパセラピストから持続化給付金で問い合わせ

が入り、持続化給付金・家賃給付金の申請をし、相談・賃貸収入などの相談に対応しました。2月に入り元会員の妹さんから10年ぶりに電話が入り「兄から相続した不動産の賃貸や近隣問題で数件の法律相談を抱え弁護士に依頼中です。何でも話せる民商にも入りたい」と入会しました。

中田正雄会長が、配布集金している食品小売業の方に、「持続化給付金の期限が延長されたけど申し込んでいるの?」と声をかけたところ、「妻が年明けに転倒してけがをしてその看護に追われていて、年齢も年齢だし、スマホも使えないから諦めていた」と答えました。

状況を聞いてみると支給の対象になることが分かり、中田会長は「民商で援助するよ」と話し、

女性蔑視発言に抗議 東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長が「女性がたたく

武蔵野民商

「申請あきらめていた」読者に声掛け

武蔵野民商

武蔵野民商

武蔵野民商

武蔵野民商

武蔵野民商

江東 新入会員歓迎会 民商運動、商売語り合う

1月30日に、新入会員歓迎会を開催しました。新入会員3人と、役員・事務局を合わせて8人が参加しました。

「現金商売なので、給付金を申請しても入金されるまでが長く、苦しい日々が続いている」「コロナ禍で売上が下がり、

冒頭、庄司常任理事より、「お集まりいただきありがとうございます。今日は民商運動に触れ、有意義にお話していきたいと思います」と開会あいさつがありました。

その後、全商連制作の「よこそ民商へ」のDVDを視聴しました。

新入会員よりそれぞれ自己紹介があり、商売の現状やコロナ禍での現状が語られました。

「現金商売なので、給付金を申請しても入金されるまでが長く、苦しい日々が続いている」「コロナ禍で売上が下がり、



倉敷民商弾圧事件 不当逮捕から7年 全国怒りの一斉宣伝活動

2014年1月21日、国税局・公安警察地検が倉敷民商事務所などを家宅捜索、そして事務局員の瀬戸町子さんたちを逮捕しました。

あの日から7年、倉敷民商弾圧事件のたたかいが全国に広がり、怒りの宣伝行動が展開されました。

全国連絡会がお茶の水駅前で行った宣伝活動で、3メートルの横断幕が目立ち、通行人が目を止めて見ていたり、署名板を持つメンバーにしばらく話しかかると、署名板を手にした。ビラの受け取りも良



俳句

石川貞夫選

立春の空にひらりと屋根職人
三鷹市 根岸 操

「評」自信に満ちた軽やかな屋根職人への感動と信頼。見るたびにころころ育つ梅蕾

大田区 馬場 恵子

「評」へころころは昔の姿とそれを見守る優しい眼。申告や氷る帳簿とにらめっこ

大田区 高橋 清美

「評」苦勞の申告時期。氷る帳簿が厳しさを語る。久々に来し友の手に黄水仙

足立区 望月千恵子

「評」黄水仙も嬉しいが、何より嬉しい友の来訪。天国の夫に向かって福は内

大田区 山根 康子

「評」亡き人に向かって福は内とは泣かせる。

*他にも佳句あり。次回もぜひ健筆を!

「投稿規定」ハガキに3句以内。未発表に限る。住所・氏名・電話番号を明記のこと。締切は毎月2月曜日。宛先は東京商工団体連合会(東京商工新聞)編集部。掲載者には図書カードを贈呈いたします。

読者の ひまわり



倉敷民商弾圧事件
瀬戸町子判は、きちんとした証拠がないまま逮捕され、3年も差戻審が始まらないのですか?そもそも仲間同士が助け合っ

芽が顔を出しているではありませんか。春は着実に準備されています。政治の春ももつこまで来ているかな?

(足立区 鈴木賢市)

2月号のパズルの答え アイスバーン

次の方に図書カードを送ります。

佐藤真理(江東区)
小島博子(北区)
鈴木夏江(小金井市)
敬称略

お楽しみ図書カードが当たる ザ・クロスワード

No.138



- ヨコのカギ
- ひなまつりのお酒
 - 「土筆」読めますか?
 - ケーブル……。ペー……
 - 魔法……。猛獣……
 - 忘れ物や落とし物のことを……物といひます
 - 四人姉妹を描いた小説「……物語」
 - ヒツジの頭。……狗肉
 - 皮膚にできる細い筋
 - ……屋で絵……をかう
 - 英語ではスコピオン
 - 傾斜している道
 - 指名……の容疑者
 - ひとそろい
 - 花が十分に開いた状態
 - 王さまが住む御殿
 - 村と市の中間
- タテのカギ
- 歯医者さんのことです
 - アルコール分を含む化粧水
 - ……圧……
 - あとから加えること
 - 大河ドラマ、青天を衝ける主人公は?
 - イタチに似た形の特別天然記念物
 - ……鎮……劑
 - 髪をとく道具
 - 二ワトリの頭の突起
 - 戸籍のある場所
 - 有利で、すぐれた点
 - 甘みの強い調味料
 - 羽織……の時代劇衣装
 - 雨の日が多い季節
 - 千の十倍は?

【解き方】カギを解いてクロスワードを完成したら、二重ワクの文字をつまみくわいで言葉を完成させてください。

新入会員対象 確定申告準備会
板橋民商

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、確定申告の季節が近づいてきました。板橋民商では、昨年4月以降に入会した方々を対象に、確定申告準備会を開催しています。1月24日に開かれた準備会(第1回)には、新会員10人と相談員6人が参加しました。

準備会では、猪田佳一会長、室伏太郎副会長、鈴木許乃婦人部長らがサポートに入りました。「春の運動DVD」を視聴した後、猪田会長は「領収書の整理など、しっかり身につけてください」とあいさつ。古山壽樹事務局長が科目ごとの領収書の分け方方法など



国や自治体は応分の補償を
新宿の料飲業者支援の拡充を求め懇談

新宿民商会を中心とした「新宿の灯を守る会」は、1月23日に日本共産党の山添拓参議院議員、谷川智行衆院東京比叡候補と区役所会議室にて懇談をおこないました。

クランプのママからは「20人の女性が働いていて、個人事業主として契約しているので雇調金も使えず、休業している収入もない状況で給料が払えない」との訴えが。

飲食店に野菜を卸している業者からは、「私たちは飲食店のみなさんが



「事業規模に合わせた支援が必要だ」との話がありました。

大山とも子、尾崎あや子両都議や3人の区議も同席しました。

会では再度の持続化給付金の支援などを求め、経済産業省へ申し入れました。

声。また、民商会員であるラウンジ経営者からは「1カ月の売上300万円が、休業を余儀なくされて消えてしまっている状況が昨年から続いている。お店の規模に合わせた支援をお願いしたい」という声も。

山添議員からは